

**製品名: MB67 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13679**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NR1I3 NR1I3; CAR; Nuclear receptor subfamily 1 group I member 3; Constitutive activator of retinoid response; Constitutive active response; Constitutive androstane receptor; CAR;
別名	Orphan nuclear receptor MB67
遺伝子 ID	9970.0
SwissProt ID	Q14994
免疫原	抗血清はヒト NR1I3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

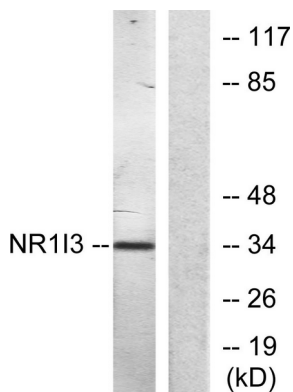
**背景**

この遺伝子は核内受容体スーパーファミリーのメンバーをコードし、生体異物および生体内物質の代謝における重要な調節因子です。このタンパク質は、レチノイドX受容体とモノマーまたはヘテロダイマーとしてDNAに結合し、シトクロムP450ファミリーのメンバーなど、薬物代謝やビリルビんクリアランスに關与する標的遺伝子の転写を制御します。ほとんどの核内受容体とは異なり、この転写制御因子はリガンド非存在下で恒常的に活性化されますが、アゴニストと逆アゴニストの両方によって制御されます。リガンド結合によりこのタンパク質は核に移行し、そこで標的遺伝子の転写を活性化または抑制します。これらのリガンドには、ビリルビン、さまざまな外来化合物、ステロイドホルモン、処方薬などがあります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン: 短いN末端ドメインと、それに続くDNA結合ドメイン、ヒンジドメイン、リガンド結合/二量体化ドメインから構成される。機能: レチノイン酸受容体β2およびアルコール脱水素酵素3遺伝子の発現を制御するレチノイン酸応答エレメントに結合し、転写活性化する。ヒトCYP2B6遺伝子のフェノバルビタール応答エレメントモジュールとCYP3A4異物応答エレメントの両方を転写活性化する。誘導: デキサメタゾンによる。類似性: 核ホルモン受容体ファミリーに属する。類似性: 核ホルモン受容体ファミリーに属する。NR1サブファミリー。類似性: 核受容体DNA結合ドメインを1つ含む。サブユニット: NR1I3とRXRのヘテロ二量体。PSMC4と相互作用する。組織特異性: 主に肝臓で発現する。

## 研究分野

薬物代謝; 代謝; 経路とプロセス; 代謝シグナル伝達経路; 薬物代謝; レチノイン酸とレチノイド; エピジェネティクスと核シグナル伝達; 核シグナル伝達経路; 核受容体; オーフアン核受容体; シグナル伝達; 神経科学

## 画像データ



血清20% 15%で処理したJurkat細胞ライセートのNR1I3抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。